

## 働く者・県民生活の底上げを図るために果敢に闘おう！ -2017春闘キックオフ!!-



写真上 講師:須田総合労働局長



2月4日(土)、まなびタウンとうはく(琴浦町)に約230人(うち女性42人・参画率102%)の連合鳥取組合員役員が参集し「2017春季生活闘争開始宣言集会」を開催しました。集会には「連合が春闘でめざすこと」を学ぶとともに、「連合鳥取2017春闘方針」の浸透を図り、4年連続のベースアップを実現するため、全単組で要求書を提出することを確認しました。

集会は、連合本部より須田孝総合労働局長を講師に迎え、「連合が『2017春季生活闘争方針』でめざすもの」と題し、春闘の歴史から行間にある意味まで講演していただきました。

講演内容(要旨) 春闘において賃上げをどうするか。労働条件を良くすることは当然であるが、3年〜5年先のことを考えて2017年は「何を考えて、何を行わなければならないか」を個別労使も考えてほしい。中長期課題は、①「少子・高齢社会」における労働力人口の推移、②「イノベーション(技術革新)」によるメリットとデメリット、③「経済の自立的成長」は賃上げなしで行えないという点である。2019年10月の消費税の引き上げ予定に向け、企業も家計も体力をつける必要がある。今春闘での賃

上げにより消費を拡大して備えることが大切である。中小企業の『底上げ・底支え』、『格差是正』を進めるには、公正取引となっていないことが問題であり、社会全体で商慣行を改善して、\*サプライチェーン全体として賃上げを考慮の必要がある。 また、『同一労働同一賃金』は以前より連合が主張していたことであり、ガイドライン(案)が提示されたがいくつか問題がある。中小企業で賃金制度を確立していない企業が正規・非正規の両方を雇っていた場合致命的となるので、法律の施行までに改善することが必要である。

※サプライチェーンとは サプライは供給、チェーンは連鎖の意味。 製品の原材料が生産されてから消費者に届くまでの一連の工程のこと。 連合の掲げる「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な分配の実現」とは、すなわち「公正取引の実現をはかることが必要」ということ。

民進党は「子育て」「教育」「年金」「介護」など国民生活に直結する政策を中心に考えています。

生活者働く人の環境を良くするための政治に変えていく必要がある。頑張りましょう。

激励にかけつけた 湯原俊二さん

ことを最大の課題とした」と連合鳥取2017春闘方針の提起と決意を述べ、参加者全員で確認しました。

◆集会の様子&アピール等詳しくは連合鳥取ホームページをご確認ください◆

連合鳥取&東・中・西部地協facebookを開設!!

連合鳥取ホームページからチェックしてください。

コタ外 待ってます!

# 2017春季生活闘争特集

「底上げ・底支え」「格差是正」で  
**クワシハコアゲ** を実現しよう!  
 長時間労働撲滅で  
**ハッピーライフ** の実現を!

各地協 産別・単組代表者会議で  
 春闘方針&具体的取り組みを確認

連合鳥取の東部・中部・西部地域協議会は組合役員と組合員、そして、連合鳥取の推薦議員のみなさんに参加を呼びかけ、「連合鳥取2017春闘方針」の周知・徹底を図るための「産別・単組代表者会議」を開催しました。各会場とも、「厳しい闘いが予想される2017春闘だが、納得のいく結果を勝ち取るため組合員が一丸となって取り組む」ことを参加者全体で確認しました。

あわせて、中部・西部地協の単組代表者会議では、それぞれの地域の今後の活動(政治活動・メーデー大会など)についても各地協事務局長が説明を行いました。

また、中部地協の代表者会議では、中部地域の推薦議員である伊藤保鳥取県議会議員、興治英夫鳥取県議会議員、福井康夫倉吉市議会議員から活動報告をいただきました。

西部地協の代表者会議では、第48回衆議院議員選挙に連合鳥取が推薦を決定している「湯原俊二」さん(元衆議院議員)から激励のあいさつを受けました。



## 経営者団体と意見交換会で 連合鳥取の方針を示す

連合鳥取は2月8日(水)、鳥取市内で、鳥取県経営者協会と「2017春季生活闘争」に関して意見交換を行いました。

本川博孝会長は「2月4日(土)に春闘開始宣言集会を開催し、事実上春闘がスタートした。本年も4%以上・8,600円以上をめざし、昨年同様月例賃金にこだわる。また、非正規社員も鳥取県の経済を大きく支えている。非正規社員の労働条件改善にも取り組む。さらには長時間労働の改善についても春闘のなかで進めていく。今後も鳥取県の経済発展のため、労使で力を合わせていく」と決意を語りました。

その後、田中穂事務局長から「連合鳥取2017春季生活闘争方針」について提起し、それを基に意見交換を行いました。まとめとして、「それぞれの課題を労使で、具体的にどうするか考えていく必要がある。また、働き方改革も、労使で仕事のやり方を工夫し、経費節減を行い、その経費を人材育成や職場環境にあてる」ことを確認し、最後に、本年も昨年を引き続き、「働き方改革」など労働環境を取り巻く喫緊の課題をテーマにした労使合同のイベントを行うことを合意しました。

<連合鳥取参加役員>



<連合鳥取>

<経営者団体>

## 第88回鳥取県メーデー大会 4月29日(土)県内3会場で開催

※現在、各地協で企画中※

募集中

長時間労働の撲滅  
 ディーセント・ワークの実現  
 今こそ 底上げ、底支え、  
 格差是正の実現を!

- 締切日 2017年4月3日(金)連合鳥取事務局必着
- 送付先 連合鳥取 〒680-0847 鳥取市天神町30-5  
 TEL)0857-26-6605 FAX)0857-26-6615  
 メールアドレス)tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
- 選考 第88回鳥取県メーデー大会実行委員会による  
 ※ サラリーマン川柳等に類似した作品はご遠慮願います。
- 表彰 【入選】・最優秀賞(1点) 賞金2万円  
 ・優秀賞(3点) 賞金1万円  
 【佳作】(6点) 賞金5千円

☆表彰作品は、当日各会場で配布するメーデーのしおりに記載します。

<川柳とは> 季語や切れ字などの制約がなく、口語を使って滑稽・風刺・機知などを特色とした五・七・五(17字)の短詩。

## 全国労働相談ダイヤルを3日間(2/9-11)開催

全国の連合は、①労働契約の更新時期を迎える年度末であること②2018年4月1日から始まる「無期転換ルール」の開始を目前に控えた「雇止め」などの雇用問題の増加が予想されること③2017春季生活闘争において、非正規雇用労働者の雇用確保や適正な処遇の確保に取り組んでいること—を踏まえて、非正規雇用をテーマにした「全国一斉労働相談ダイヤル」を実施しました。

連合鳥取も事務所に専従役員と産別からの相談対応者が待機しましたが、大雪の影響か、当日は電話がなく、事前PRの新聞広告掲載日直後やそれ以外の日にパワハラ等について深刻な相談がありました。



# “ブラック企業” “ブラックバイト”に泣かされないために!! -高校出前授業を実施-

連合鳥取は2月2日(木)、鳥取県立米子高等学校からの要請で、昨年に引き続き、「労働法規に関する出前講座(1コマ45分×2,計90分)」を実施しました。

当日は、田中穂事務局長と馬場一憲副事務局長が1年生150人を対象に、労働についての基礎知識を身につけてもらおうと、働くことの意味や労働者の権利を説明しました。

田中事務局長は、冒頭、「ブラックバイト」の対処方法や、労働法に関する〇×クイズで生徒の関心を高め、その後社会人の心構えとして、会社のルールを守り、仕事への積極的な姿勢、そして同じ職場で働く人と協力することが大切であることを伝えました。

さらに、冊子「THE社会人」を利用して、働くときのルール、①働く条件は必ず書面で確認すること②鳥取県の最低賃金は715円(アルバイト・パートも含む)③労働時間④有給休暇—などをわかりやすく説明しました。また、連合鳥取によせられる労働相談についてもふれ、働くことで困った時には一人で悩まずに信頼のおける人、また行政の相談窓口相談することの大切さを強調しました。

最後は生徒代表から講座への感謝の言葉が伝えられ、出前講座を終えました。



## 「3.8国際女性デー」をご存知ですか?

### 3月8日は、国際女性デー

3.8国際女性デーとは…

- ❖ 今から160年前、1857年3月8日、ニューヨークの被服工場働く女性達が低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8国際女性デー」の起源であると言われています。
- ❖ その後1908年3月8日には、女性労働者たちが賃金改善と労働時間短縮、そして婦人参政権を求めて「パンとバラ」を掲げ、デモを行いました。
- ❖ 以来、この日は、“女性の政治的自由と平等のために行動する記念日”と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、世界各国で様々な行動が展開されています。



賃金・労働条件・セクハラなど、職場で不安があれば相談を!

女性委員会は、毎年、3月8日の「国際女性デー」にあわせて「学習会」と「街宣活動」を実施しています。

本年も2月25日(土)、連合本部より富高裕子男女平等局長を講師に迎えての「学習会」と「体験活動」を鳥取県労働会館(鳥取市)において行い、その後、参加者はイオン鳥取店前に移動して、「3.8国際女性デー」の意義を掲載したチラシ入りのポケットティッシュとラスク」を配布する街宣活動を実施しました。

・講演テーマ/「男女ともにかがやこう!

～現代社会から考える3.8国際女性デーの意義～

・体験活動/からだ巡る!好循環体験(ハンドマッサージ)

講師)ポーラザビューティ鳥取叶店 本池マネージャー

(写真中央)



## ご存知ですか? “連合春季生活闘争 Action2017”より「連合鳥取第3次男女平等推進計画」②③

前回に引き続き、春季生活闘争Action2017からお届けするよ。  
「性別や年齢を問わず、すべての働く人が仕事と育児・介護を両立できる社会=働くことを軸とする安心社会」の実現を一緒にめざしていきましょう!



連合のゆるキャラ ユニオニオン

### ワークライフバランス 3 育児編 非正規雇用的人也育児休業取れるの?

**第一子出産前後の妻の育児休業利用状況**

雇用形態	2010年~2014年
正規職員	59.0%
パート・派遣	10.6%

【資料出所】国立社会保険・人口問題研究所 「第15回出生動向基本調査(夫婦調査)」(2015年)

**すべての働く人が安心して仕事と育児を両立できる職場環境を実現しよう!**

2017年1月に改正育児・介護休業法が施行されました。育児分野では、子の看護休暇の半日単位取得、有期契約労働者の育児休業の取得要件緩和、育児休業等の対象となる子の範囲拡大などの改正が行われました。  
男性や有期契約労働者の育児休業取得が進まない中、すべての働く人が安心して仕事と育児を両立できるように、性別や雇用形態に関係なく、育児休業取得等の両立支援制度が利用できる環境整備に取り組みましょう。

### ワークライフバランス 4 介護編 仕事と介護の両立に必要なことは?

**家族や親族の介護への不安**

回答	割合
非常に感じる	48.6%
やや感じる	41.1%
あまり感じない	8.8%
まったく感じない	1.2%
無回答	0.3%

【資料出所】連合介護休業制度等に関する調査・実施調査(2015年)

**性別や年代を問わず、介護をしながら安心して働き続けられる職場をつくらう!**

年間10万人の介護離職などが社会問題となる中、介護分野を中心に育児・介護休業法が改正されました。  
今後も高齢者人口は増加し、介護ニーズのさらなる増加が推測されています。連合の調査でも40歳以上の労働者の約6割が近い将来「介護することになる」と想定し、約9割が介護に不安を抱えています。  
介護経験者では、「仕事を辞めようと思ったことがある」人が約3割にのぼり、安心して仕事と介護を両立できる就業環境の整備が必要不可欠です。



## 湯原俊二

— 緑肥の想い —

**2017運輸労連  
春闘学習会**  
2/5 米子ワントンホテル



**電機連合鳥取地協  
地域改革フォーラム**  
2/18 中部教育会館



**JAM山陰  
第18回地方委員会**  
1/27 望湖楼



**2017米子支部新春賀詞  
西日本旅客鉄道労組**  
JR西労組  
新春賀詞交歓会  
1/27 米子ワントンホテル



**JR西労組米子支部  
新春賀詞交歓会**  
1/27 米子ワントンホテル

**西部地協街宣**  
2/8 JR米子駅前



**JAM神鋼機器  
工業労組臨時大会**  
2/8 神鋼機器工業



**県職連合・県職労臨時大会**  
2/22 まなびタウンとうはく



**湯原俊二は労働問題についてこう考える**

安倍政権は、大企業から政治献金をもらい労働法制を改悪しています。派遣労働を一生可能にする法律を成立させ、成果主義にもとづく残業代ゼロ法案も国会で継続審議中です。金銭を払えば解雇できる法案も検討中です。長時間労働の問題でも、政府内では繁忙期には月100時間の残業を認める法案も検討中です。

私は、派遣労働は通訳など特定の分野に限り、他の労働法制の改悪には反対し安心して働ける労働環境を政治がちゃんと作るべきと考えます。

またみなさまの職場におかれましては、労働環境の改善のため春季生活闘争で勝利を取られますことを祈念申し上げます。

# “ザ・議員”

## 長坂 則翁

鳥取市議会議員

鳥取市議会議員として11年目に入りました。今日まで精力的に議員活動を行ってきたところです。

さて、例年、年のはじめには多くの町内会、集落の会長、区長さんをはじめ役員のみなさまが、行政に対して新年のあいさつも兼ねて陳情、要請行動を展開されており、私も事前の手配も含め、その行動に同席させていただいています。

陳情、要請項目は、道路、河川、水田、水路、治山事業、交通安全施設、鳥獣被害対策、簡易水道問題等、多岐にわたっています。

それらさまざまな地域課題について、正面から向き合い、一つひとつ粘り強く解決に向け努力をしているところです。

今後とも、それら地域課題の解決を通じて市民生活の向上、安心・安全な地域づくりに向け努力をしていく所存です。

みなさまの貴重なご意見をお寄せください。



内海中集落のみなさまの行政に対する陳情・要請行動(2017.1.23)

## 柊 康弘

境港市議会議員

所属する会派の行政視察で神奈川県座間市に伺いました。

座間市では市民にゴミに対して関心を持ってもらおうと考え、ゴミ収集車を目立つようクリーンセンター現場職員がデザインした市のマスコットキャラクター「ざまりん」と、啓発キャラクター「パッカ君」をラッピングして市民から好まれる収集車となっていました。

また収集車が目立つことでドライバーはより好まれるよう運転にもこれまで以上に気を使い、その結果、視察に伺った2月3日時点で無事故1124日を継続しておられました。洗車も行き届いていてどの収集車もピカピカに磨かれており、職員のみなさんの意識の高さもあわせて窺えた視察となりました。



座間市パッカー車



座間市 担当者との意見交換会の様子

**鳥取県労働・福祉事業四団体合同研修会**

日時 3月24日(金)  
10時30分～12時00分

場所 全労済鳥取県本部(鳥取市)

内容 講演  
「歴史に学び、連帯・協同の社会のために」  
「職域地域で労働者自主福祉運動の前進に向けて(仮称)」  
講師 山本幸司さん  
(中央労福協参事)

※事前申し込みが必要ですが、参加者には昼食弁当を準備します

てんてんとらば

ここ数年、新規採用で若い組合員が入ってきて組合の雰囲気も少し変わったと感じます。▼自分が年取ったせいかもしれない、組合の役員になって何年経つかと考えることもよくあります。振り返ると16年間役員をして、その間、さまざまな経験をさせてもらいました。▼現職として今の課題に対して取り組むべき事が最優先なのは当然のことですが、最近では、自分の今までの経験、知識をどのようにこれから組合を担う若い方に引き継げるか、同時に考えてしまいます。他の現職役員に怒られるかもしれませんが：・：▼連合・産別ともこれから組合を担う役員育成の重要なことだと思えます。若い方々の行動力・発想は組合活動においては大変貴重な財産です。それを生かしながら、これからの組合発展のため、役員育成等取り組むことを重要な課題のひとつだと考えます。(じいさん)

